

神経内科

Department of Neurology

教授	田中耕太郎	Kortaro Tanaka
准教授	高嶋修太郎	Shutaro Takashima
助教	田口 芳治	Yoshiharu Taguchi
助教	道具 伸浩	Nobuhiro Dougu

◆ 著 書

- 1) 田中耕太郎：EPAによる脳卒中予防効果について教えてください。「脳卒中診療こんなときどうするQ&A 第2版」棚橋紀夫, 北川泰久編, 271-275, 中外医学社, 東京, 2012.
- 2) 田中耕太郎：めまい・ふらつき編(4)問診への回答重要。「病気のシグナル」富山大学附属病院編著, 北日本新聞社, 18-19, 2012.
- 3) 田中耕太郎：歩行障害・脱力編(3)異常の原因に神経系。「病気のシグナル」富山大学附属病院編著, 北日本新聞社, 92-93, 2012.
- 4) 田中耕太郎：飲み込み困難編(4)「脳卒中」の疑いも。「病気のシグナル」富山大学附属病院編著, 北日本新聞社, 104-105, 2012.
- 5) 高嶋修太郎：症候性てんかん。「今日の治療指針 2012」山口 徹, 北原光夫, 福井次矢編, 795-797, 医学書院, 東京, 2012.
- 6) 高嶋修太郎：頭痛・痙攣で発症し, D-dimer 高値であったことから, 脳静脈・静脈洞血栓症が疑われました。診断と治療はどうしますか? 「脳卒中診療こんなときどうする Q&A 第2版」棚橋紀夫, 北川泰久編, 中外医学社, 161-165, 2012.

◆ 原 著

- 1) Suzuki N., Sato M., Houkin K., Terayama Y., Uchiyama S., Daida H., Shigematsu H., Goto S., Tanaka K., Origasa H., Miyamoto S., Minematsu K., Matsumoto M., and Okada Y. : One-year Atherothrombotic Vascular Events Rates in Outpatients with Recent Non-cardioembolic Ischemic Stroke: The EVEREST (Effective Vascular Event REDuction after STroke) Registry. *J. Stroke Cerebrovasc. Dis.*, 21: 245-253, 2012.
- 2) Uchiyama S., Ibayashi S., Matsumoto M., Nagao T., Nagata K., Nakagawara J., Tanahashi N., Tanaka K., Toyoda K., and Yasaka M. : Dabigatran and Factor Xa Inhibitors for Stroke Prevention in Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation. *J. Stroke Cerebrovasc. Dis.*, 21: 165-173, 2012.
- 3) Takashima S., Nakagawa K., Hirai T., Dougu N., Taguchi Y., Sasahara E., Ohara K., Fukuda N., Inoue H., and Tanaka K. : Transesophageal echocardiographic findings are independent and relevant predictors of ischemic stroke in patients with nonvalvular atrial fibrillation. *J. Clin. Neurol.*, 8: 170-176, 2012.
- 4) Hirano K., Takashima S., Dougu N., Taguchi Y., Nukui T., Konishi H., Toyoda S., Kitajima I., and Tanaka K. : Study of hemostatic biomarkers in acute ischemic stroke by clinical subtype. *J. Stroke Cerebrovasc. Dis.*, 21: 404-410, 2012.
- 5) Sasahara E., Nakagawa K., Hirai T., Takashima S., Ohara K., Fukuda N., Nozawa T., Tanaka K., and Inoue H. : Clinical and transesophageal echocardiographic variables for prediction of thromboembolic events in patients with nonvalvular atrial fibrillation at low-intermediate risk. *J. Cardiol.*, 60: 484-488, 2012.
- 6) 田中耕太郎：脳梗塞再発予防 update. *臨床神経*, 51: 862, 2012.
- 7) 高嶋修太郎：けいれん重積発作に対するダントロレンの有効性は本当でしょうか? *臨床神経*, 52: 261, 2012.
- 8) 高嶋修太郎：脳静脈・静脈洞血栓症の脳圧亢進症状に対するグリセロールの適応について. *臨床神経*, 52: 511-512, 2012.
- 9) 田口芳治, 高嶋修太郎, 鈴木道雄, 田中耕太郎：富山県内の精神科医における抗 NMDA 受容体脳炎の認知度調査. *BRAIN NERVE*, 64: 1341-1345, 2012.

◆ 症例報告

- 1) Taguchi Y., Yoshida K., Takashima S., and Tanaka K. : Diffusion-weighted MRI findings in a patient with pituitary abscess. Intern. Med., 51: 683, 2012.
- 2) 田口芳治, 野口 京, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : Alzheimer 型認知症に認められた脳表へモジゲリン沈着症. 神経内科, 77: 322-324, 2012.
- 3) 田口芳治, 小西宏史, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 笑い発作を伴った視床下部過誤腫. 内科, 109: 886, 2012.
- 4) 田口芳治, 岡本宗司, 松村内久, 久保道也, 堀江幸男 : 市販鎮痛薬の長期服用により偽性高クロール血症を認めた片頭痛の1例. 内科, 110: 669-672, 2012.

◆ 総 説

- 1) 田中耕太郎 : modified Rankin scale (mRS). Stroke-Expert Network, 4: 12-13, 2012.
- 2) 田中耕太郎 : JELIS が示した脳血管イベント抑制の意義. 循環 Plus, 12: 10-12, 2012.
- 3) 田中耕太郎 : 日本脳卒中協会 支部だより 富山県支部. JSA News, 29: 35, 2012.
- 4) 高嶋修太郎 : CKD 合併脳卒中の抗血栓療法. 脳と循環, 17: 231-235, 2012.
- 5) 高嶋修太郎 : 塞栓源としての心房細動. Clinical Neuroscience, 30: 1239-1241, 2012.
- 6) 田口芳治, 田中耕太郎 : めまい疾患の最新診療「脳血管障害とめまい」. 日本医師会雑誌, 140: 2081-2084, 2012.
- 7) 田口芳治, 田中耕太郎 : 脳血管障害「脳静脈血栓症」. Medicina, 49: 644-647, 2012.
- 8) 道具伸浩, 田中耕太郎 : 若年性脳梗塞の特徴. 診断と治療, 42: 1464-1470, 2012.
- 9) 温井孝昌 : 【どう診る?何を診る?ER の神経疾患】「歩行障害で来院されましたが、よくわからないので MRI を撮影します。」歩行障害の原因は麻痺?しびれ?痛み?原因を探るアプローチとは? ER マガジン, 9: 188-195, 2012.
- 10) 温井孝昌 : 【どう診る?何を診る?ER の神経疾患】「だいぶ前から歩行は悪かったようで、先ほど転倒して来院しました。」ER にも忘れた頃にやってくる神経疾患 パーキンソン病/パーキンソン症候群. ER マガジン, 9: 250-258, 2012.

◆ 学会報告

- 1) Takashima S., Nakagawa K., Hirai T., Dougu N., Taguchi Y., Sasahara E., Ohara K., Fukuda N., Inou H., and Tanaka K. : Transesophageal echocardiographic findings are independent and relevant predictors of ischemic stroke in patients with non-valvular atrial fibrillation. Asia Pacific Stroke Conference 2012, 2012, 9, 10, Tokyo.
- 2) Taguchi Y., Takashima S., Dougu N., Nukui T., Hirano K., Konishi H., Yoshida K., Hayashi T., Yamamoto M., and Tanaka K. : CHADS2 Score is related to outcome at discharge in patients with cardioembolic stroke caused by non-valvular atrial fibrillation. Asia Pacific Stroke Conference 2012, 2012, 9, 10, Tokyo.
- 3) 田中耕太郎 : 脳梗塞発症予防と脂質管理. 第 37 回日本脳卒中学会総会シンポジウム「脳卒中発症予防のための risk 管理」, 2012, 4, 27, 福岡.
- 4) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための抗血小板療法 Update. 第 37 回日本脳卒中学会総会ランチョンセミナー, 2012, 4, 28, 福岡.
- 5) 田中耕太郎, 峰松一夫 : 脳出血ー最新の内科的アプローチ. 第 53 回日本神経学会学術大会シンポジウム, 2012, 5, 24, 東京.
- 6) 田中耕太郎 : 日本人にとって最も有用な抗血小板療法を考える. 第 24 回日本脳循環代謝学会総会イブニングセミナー, 2012, 11, 8, 広島.
- 7) 田中耕太郎 : 頭蓋内動脈狭窄に対する最適な抗血小板療法. 第 15 回日本栓子検出と治療学会シンポジウム, 2012, 10, 5, 豊中.
- 8) 高嶋修太郎 : 内科医が知るべき意識障害患者の診かた. 日本内科学会北陸支部第 55 回生涯教育講演会, 2012, 3, 4, 富山.
- 9) 高嶋修太郎, 中川圭子, 平井忠和, 道具伸浩, 田口芳治, 笹原悦子, 大原一将, 福田伸之, 井上 博, 田中耕太郎 : 心房細動患者において, TEE リスクは脳梗塞の独立した強力な予測因子である. 第 37 回日本脳卒中学会総会, 2012, 4, 26, 福岡.
- 10) 高嶋修太郎, 中川圭子, 平井忠和, 吉田幸司, 小西宏史, 平野恒治, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 井上 博, 田中耕太郎 : 心原性脳塞栓症の一次予防と二次予防の実態比較. 第 53 回日本神経学会学術大会, 2012, 5, 24, 東

京.

- 11) 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎 : 高ホモシステイン血症を伴う脳梗塞の特徴. 第 24 回日本脳循環代謝学会総会, 2012, 11, 8, 広島.
- 12) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 平野恒治, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 田中耕太郎 : 脳梗塞を発症した糖尿病患者の治療実態. 第 109 回日本内科学会総会・講演会, 2012, 4, 15, 京都.
- 13) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 平野恒治, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 田中耕太郎 : 非弁膜症性心房細動による心原性脳塞栓症の重症度と CHADS₂ score との関連に関する検討. 第 37 回日本脳卒中学会総会, 2012, 4, 26, 福岡.
- 14) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 平野恒治, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 田中耕太郎 : 糖尿病を伴う脳梗塞の予後に関連する因子の検討. 第 53 回日本神経学会学術大会, 2012, 5, 23, 東京.
- 15) 田口芳治 : 急性期脳梗塞患者における骨代謝マーカーについての検討. 第 48 回日本リハビリテーション医学会総会, 2012, 6, 1, 福岡.
- 16) 田口芳治, 高嶋修太郎, 吉田幸司, 小西宏史, 平野恒治, 温井孝昌, 道具伸浩, 田中耕太郎, 大原一将, 中川圭子, 沼 哲之, 平井忠和, 井上 博 : 脳梗塞発症前 CHADS₂ スコア 1 点以下の心原性脳塞栓症における左心耳機能の検討. 第 31 回日本神経超音波学会総会, 2012, 6, 29, 大宮.
- 17) 田口芳治, 小西宏史, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸司, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 一過性全健忘を呈し, 脳アミロイドアンギオパチーが疑われた 55 歳男性例. 第 133 回日本神経学会東海北陸地方会, 2012, 7, 7, 名古屋.
- 18) 田口芳治, 高嶋修太郎, 小西宏史, 田中耕太郎 : catatonia を呈した non-convulsive status epilepticus の 1 例. 第 6 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 2012, 10, 12, 京都.
- 19) 田口芳治, 高嶋修太郎, 野口 京, 吉田幸司, 小西宏史, 温井孝昌, 道具伸浩, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎 : 脳アミロイドアンギオパチーに合併した脳表ヘモジデリン沈着症の画像所見の検討. 第 24 回日本脳循環代謝学会総会, 2012, 11, 8, 広島.
- 20) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 小西宏史, 吉田幸司, 田中耕太郎 : 多発神経炎で発症した神経梅毒の 1 例. 第 132 回日本神経学会東海北陸地方会, 2012, 3, 3, 名古屋.
- 21) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 温井孝昌, 田口芳治, 田中耕太郎 : 脳梗塞急性期患者における担癌患者の凝固線溶系の検討. 第 24 回日本脳循環代謝学会総会, 2012, 11, 9, 広島.
- 22) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 平野恒治, 温井孝昌, 田口芳治, 田中耕太郎 : スマトリプタンの効果があり, 片頭痛と診断された脳静脈洞血栓症の 1 例. 第 40 回日本頭痛学会総会, 2012, 11, 16, 東京.
- 23) 温井孝昌, 米田順子, 荒川千晶, 足立智英, 星野晴彦, 高木 誠 : 脳塞栓症における基礎心疾患および抗血栓薬についての検討. 第 37 回日本脳卒中学会総会, 2012, 4, 26-28, 福岡.
- 24) 吉田幸司, 田口芳治, 温井孝昌, 小西宏史, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 脊髄炎で発症した神経ペーチェット病の 1 例. 第 216 回日本内科学会北陸地方会, 2012, 3, 4, 富山.
- 25) 吉田幸司, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 鉄欠乏性貧血を合併した脳深部静脈血栓症の 1 例. 第 134 回日本神経学会東海北陸地方会, 2012, 10, 20, 金沢.
- 26) 林 智宏, 温井孝昌, 山本真守, 吉田幸司, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : パーキンソンニズムおよび寛解増悪を繰り返す認知機能障害で発症した門脈大循環短絡脳症の 1 例. 第 218 回日本内科学会北陸地方会, 2012, 9, 2, 福井.
- 27) 小林憲司, 小西宏史, 林 智宏, 山本真守, 吉田幸司, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 繰り返す頭痛で発症した脳動静脈奇形による脳表ヘモジデリン沈着症の 1 例. 第 134 回日本神経学会東海北陸地方会, 2012, 10, 20, 金沢.
- 28) 平野恒治, 道具伸浩, 吉田幸司, 小西宏史, 温井孝昌, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 認知機能障害を呈した抗 VGKC 複合体抗体関連脳炎の 1 例. 第 217 回日本内科学会北陸地方会, 2012, 6, 24, 金沢.

◆ その他

- 1) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための抗血小板薬 Update. 第 2 回 Knock-Out Stroke Conference in Kanagawa, 2012, 1, 21, 横浜.
- 2) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防の最新情報—抗血小板薬と抗凝固薬. 第 1 回京滋 Stroke Neurology 研究会, 2012, 1,

27, 京都.

- 3) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防の最新情報. 多摩市・稲城市合同医師会脳梗塞再発予防セミナー, 2012, 2, 10, 稲城.
- 4) 田中耕太郎 : 会長挨拶. 平成 23 年度富山県難病医療連絡協議会, 2012, 2, 2, 富山.
- 5) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための抗血小板療法 Update. Fighting Vascular Events in Nishinomiya, 2012, 3, 1, 西宮.
- 6) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク. 大塚 Live on Seminar, 2012, 3, 8, 東京.
- 7) 田中耕太郎 : 急性期脳卒中患者の救急処置と治療—挨拶. 平成 24 年度初期臨床研修医対象シミュレーション研修—ISLS コース, 2012, 4, 6, 富山.
- 8) 田中耕太郎 : 日本人の最適な抗血小板療法とは. Fighting vascular events in Tokyo 2012, 2012, 4, 21, 東京.
- 9) 田中耕太郎 : 神経内科疾患—その薬物治療の最新情報と未来. フォーラム富山創薬 第 35 回研究会, 2012, 5, 15, 富山.
- 10) 田中耕太郎 : Opening Remarks. 皆で支える認知症フォーラム 2012, 2012, 5, 17, 富山.
- 11) 田中耕太郎 : 生活習慣病の予防 (6) . 北日本新聞 2012 年 5 月 23 日朝刊 11 面, 2012, 5, 23.
- 12) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための最新の抗血小板療法. 第 10 回北海道ストロークフォーラム, 2012, 6, 2, 札幌.
- 13) 田中耕太郎 : 一過性脳虚血発作 (TIA) の診断とその対応. 高崎西毛脳卒中カンファレンス, 2012, 7, 6, 高崎.
- 14) 田中耕太郎 : 心原性脳塞栓症予防のパラダイムシフト—新規経口抗凝固薬の評価と位置づけ. BM 勉強会, 2012, 7, 9, 富山.
- 15) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための最新の抗血栓療法. 魚津市・下新川郡医師会合同学術講演会, 2012, 7, 12, 魚津.
- 16) 田中耕太郎 : 日本人にとって最適な抗血小板療法とは. 福岡東部 Stroke Network Conference, 2012, 8, 3, 福岡.
- 17) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための最新の抗血小板療法. 福岡市西区医師会学術講演会, 2012, 8, 24, 福岡.
- 18) 田中耕太郎 : 日本人のための最適な抗血小板療法. Fighting vascular events in 備後, 2012, 9, 6, 福山.
- 19) 田中耕太郎 : 日本人のための最適な抗血小板療法とは. 第 10 回首都圏脳卒中フォーラム, 2012, 9, 7, 東京.
- 20) 田中耕太郎, 高嶋修太郎, 久保道也, 青木賢樹, 松田 博 : 脳卒中二次予防における新規抗凝固薬の適性使用について. 富山県 Care AF 講演会, 2012, 9, 26, 富山.
- 21) 田中耕太郎 : 日本人にとって最適な抗血小板療法とは. Fighting Vascular Events in Shizuoka 2012, 2012, 9, 28, 静岡.
- 22) 田中耕太郎 : 日本人のための脳卒中治療 現状と展望. Neurovascular Forum 2012, 2012, 9, 29, 東京.
- 23) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防のための最新の抗血小板療法. 第 10 回長崎脳卒中治療研究会, 2012, 10, 11, 長崎.
- 24) 田中耕太郎 : 心血管イベントの残余リスクにどう立ち向かうか? 全国エパデール講演会, 2012, 10, 20, 東京.
- 25) 田中耕太郎 : 日本人において最も有益な抗血小板療法とは. 日本人の全身の血管イベントを考える会, 2012, 10, 26, 東京.
- 26) 田中耕太郎 : これからの日本における抗血小板薬の使い方. 第 6 回西埼玉抗血小板療法研究会, 2012, 11, 2, 川越.
- 27) 田中耕太郎 : 日本人にとって最適な抗血小板療法 Update. SCRUM 学術講演会, 2012, 11, 1, 千葉.
- 28) 田中耕太郎 : 心原性脳塞栓症予防のパラダイムシフト—新規経口抗凝固薬の評価と位置づけ. 日本ベーリンガーインゲルハイム社内勉強会, 2012, 11, 27, 富山.
- 29) 田中耕太郎 : 第 6 回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ!」. 第 6 回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ!」, 2012, 12, 1, 富山.
- 30) 田中耕太郎 : 会長挨拶. 平成 24 年度富山県難病医療連絡協議会, 2012, 12, 4, 富山.
- 31) 田中耕太郎 : 頸動脈狭窄症に対する今後の内科治療. 頸動脈狭窄の最新治療, 2012, 12, 8, 大阪.
- 32) 田中耕太郎 : 脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク. 大塚 Live on Seminar, 2012, 12, 14, 東京.
- 33) 高嶋修太郎 : 認知症の医学的理解. 平成 23 年度認知症ケア研修, 2012, 2, 6, 富山.
- 34) 高嶋修太郎 : 虚血性脳卒中—初期診療のポイントと最近の治療. 第 27 回神経疾患をまなぶ会, 2012, 4, 9, 富山.
- 35) 高嶋修太郎 : パーキンソン病. フォーラム富山創薬第 35 回研究会, 2012, 5, 15, 富山.

- 36) 高嶋修太郎：眼症状を呈する神経疾患. 第2回富山大学眼科同門会講演会, 2012, 6, 2, 富山.
- 37) 高嶋修太郎：認知症と高齢者の“うつ“について. 平成24年度ホームヘルパー技術向上研修, 2012, 9, 3, 富山.
- 38) 高嶋修太郎：実臨床における認知症診療のポイント. 伊勢崎佐波医師会学術講演会, 2012, 9, 18, 伊勢崎.
- 39) 高嶋修太郎：認知症の医学的理解. 平成24年度認知症ケア研修, 2012, 11, 28, 富山.
- 40) 高嶋修太郎：日常臨床に必要な神経学的知識〜リハビリテーションに関連して〜. 富山県立高志リハビリテーション病院講演会, 2012, 12, 5, 富山.
- 41) 田口芳治：アルツハイマー型認知症と糖尿病. 第3回 Aging Care Symposium in Toyama, 2012, 1, 25, 富山.
- 42) 田口芳治, 小西宏史, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 吉田幸司, 田中耕太郎：家族性特発性脳石灰化症の1例. 厚労科研費補助金難治性疾患克服事業ファール病（特発性両側性大脳基底核・小脳歯状核石灰化症）の診断方法の確立と治療法の開発研究班 班会議, 2012, 2, 4, 岐阜.
- 43) 田口芳治:神経内科疾患 その薬物治療の最新情報と未来:脳梗塞急性期. 第35回フォーラム富山創薬研究会, 2012, 5, 15, 富山.
- 44) 田口芳治：頭頸部癌に対する放射線治療後の頸動脈病変について. 第28回富山県脳卒中研究会, 2012, 5, 18, 富山.
- 45) 田口芳治：認知症診療について. 富山県済生会富山病院地域連携の会, 2012, 6, 26, 富山.
- 46) 田口芳治：脊髄小脳変性症の基礎知識と最新治療について. 脊髄小脳変性症療養相談会, 2012, 9, 3, 富山.
- 47) 田口芳治：抗NMDA受容体脳炎の診断と治療について. 富山県精神科医学会学術講演会, 2012, 9, 21, 富山.
- 48) 田口芳治：トレリーフの使用経験. 富山県パーキンソン病治療講演会, 2012, 10, 24, 富山.
- 49) 田口芳治：神経内科における認知症診断/治療の流れ. 第1回中枢神経疾患の地域連携を考える会, 2012, 11, 28, 富山.
- 50) 田口芳治：危険なノックアウト型脳梗塞 その実態と危険. 第6回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ!」, 2012, 12, 1, 富山.
- 51) 田口芳治：パーキンソン病の診断と治療について. 第392回富山県病院薬剤師会学術講演会, 2012, 12, 2, 富山.
- 52) 田口芳治：パーキンソン病の薬物治療について. ミラベックスLA レクチャーミーティング, 2012, 12, 10, 富山.
- 53) 道具伸浩：飲み込み困難について. 第5回市民公開講座「病気のシグナル」. 北日本新聞ホール, 2012, 2, 26, 富山.
- 54) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 平野恒治, 小西宏史, 吉田幸司, 田中耕太郎：馬尾の後根障害で発症した神経梅毒の1例. 第14回北陸神経疾患研究会, 2012, 3, 17, 金沢.
- 55) 道具伸浩：脳梗塞の一次予防と二次予防. 第35回フォーラム富山「創薬」, 2012, 5, 15, 富山.
- 56) 吉田幸司, 田口芳治, 温井孝昌, 小西宏史, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎：神経ベーチェット病と診断された脊髄炎の1例. 第7回富山脊椎脊髄画像研究会, 2012, 3, 16, 富山.
- 57) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 高 正圭, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 黒田 敏：パーキンソン病に対する両側視床下核刺激術における高次機能変化-RBANSを使用した評価-. 第11回北陸パーキンソン病研究会, 2012, 6, 2, 金沢.